

イルミネーションの素敵な12月になりました。
今週から気温が一気に下がります。
みなさん、温かくして過ごしましょう！
さて、今月は3人の図書委員さんが本を紹介してくれました。新しい本も入っています。
ぜひ、冬休み前に図書館に来てくださいね。



○25HR図書委員村田のオススメ本



『にんげんだもの』

みつを 著

「一生勉強 一生青春」
「毎日少しずつ それがなかなかできねんだなあ」
「ぐち ぐちをこぼしたっていいかな
弱音を吐いたっていいかな 人間だもの
たまには涙をみせたっていいかな 生きているんだもの」
「やれなかった やらなかった どっちかな」
「うばい合えば足らぬ わけ合えばあまる
うばい合えば憎しみ わけ合えば安らぎ」

「縁起十二章 おかげさま人生」は高校生である「今」読んでほしいと思います。「時間がない」、「忙しい」、「興味がない」と思っていないですか？相田みつをさんの書く詩の中には、きっと共感できるものや、気づかされる言葉があります。その中で、私が今、最も知って欲しい言葉は、「相手（縁）がなければケンカもできぬ（一人じゃ夫婦げんかもできません。）」です。

縁起とは、全体の関係の中でお互いに関係し合って生かし、生かされており、単独に存在することはできないものです。これは縁が遠のいているように見える「今」という時代で、最も大切で、絶対に忘れてはならないことです。誰かのおかげで、働けたり、主役になれたりするのは。決して誰かのせいで、悪いことが起きる訳ではありません。「うばい合えば足らぬ わけ合えばあまる うばい合えば憎しみ わけ合えば安らぎ」、一度読んで、知って、考えて、深めてみてください。私たちの力になるはずですよ。



○23HR図書委松本&服部のオススメ本

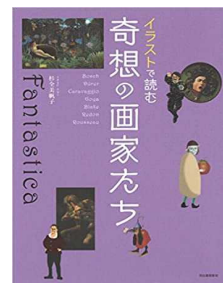


『逆ソクラテス』

伊坂幸太郎 著

阿波高図書館にもあるこの本は、主人公が全員小学生です。小学生の視点から見た言葉や物、大人への解釈が非常に面白く、読み進めていく内に、ページをめくる手が止まらなくなってしまいます。様々な問題点や悩みに、小学生たちが小学生なりの方法、手段で解決していきます。その時のわくわく感、読者の私たちがその世界に引き込みます。それがこの本の魅力だと私たちは思います。また、所々に心を打たれるような言葉が挟み込まれているので、そこにも注目しながら読んでいただきたい1冊です。

○25HR図書委員松本のオススメ本



『イラストで読む奇想の画家たち』

杉全 美帆子 著

「発想が変わっている」、そして「誰も描かなかった絵を描かすにはいられなかった」7人の画家たちにスポットライトを当て、彼らを面白おかしく紹介しています。また、画家たちが描いた絵を詳しく、分かりやすく、楽しく見られるように解説しています。普通に見るとただ綺麗な絵としか思わないような絵が、詳しい解説や画家のエピソードを知ってから見ると、ガラリと印象が変わります。絵画に興味がある人もない人も、この本を読めば絵画や画家に魅せられ、より深く絵画を味わうことができると思います。ぜひ一度手に取ってほしい1冊です。

○お知らせ

現在、貸出冊数30冊！ 貸出期限は1月8日まで!!!

どしどし借りに来てください。

冬休みの開館日は、12月24日、25日です!

9:30~17:00、補習の後にでもどうぞ!!!

